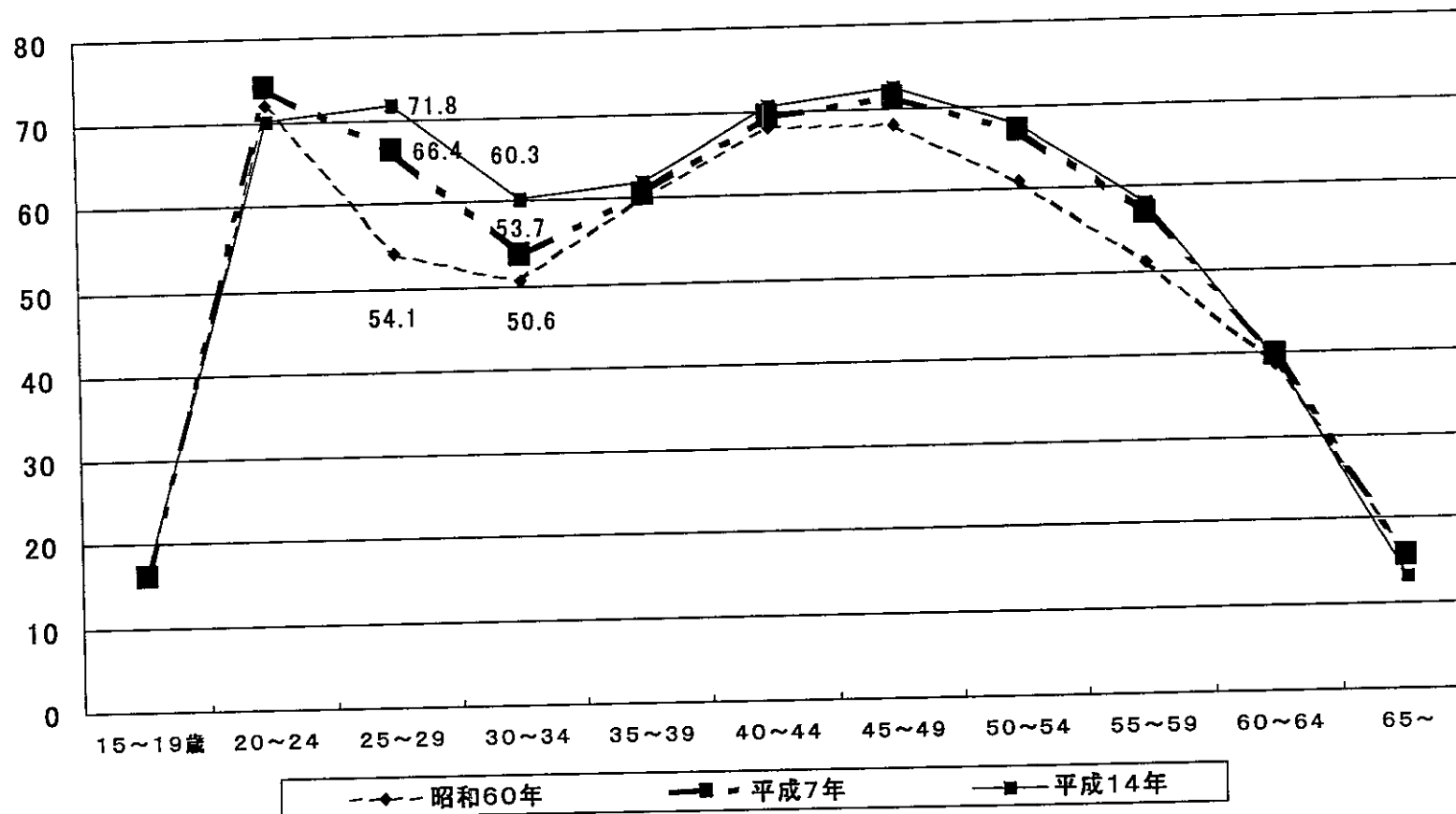


3. 子育て家庭の状況

女性の労働力率

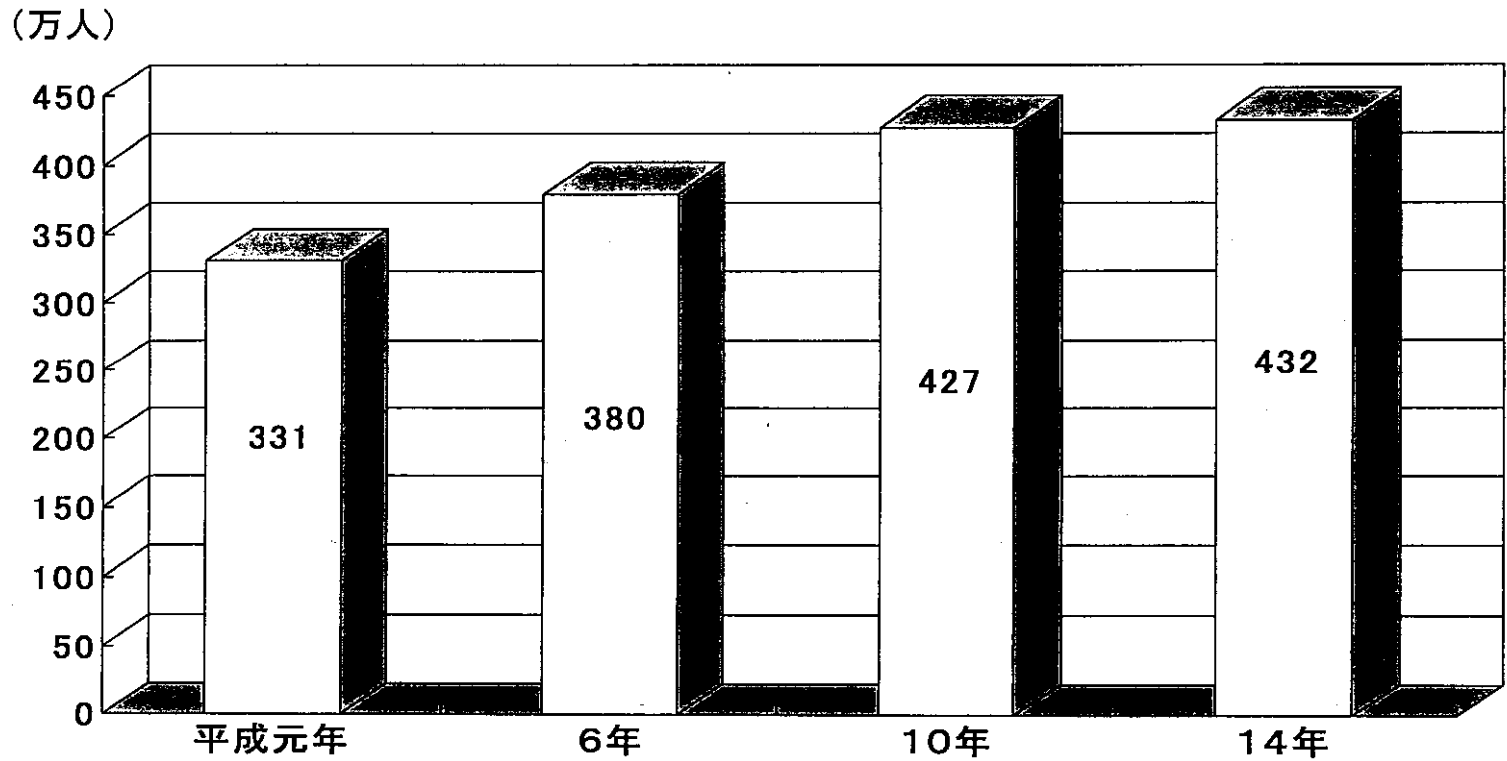
女性（25～34歳）の労働力率は、近年、上昇している。



(出典) 総務省統計局「労働力調査」

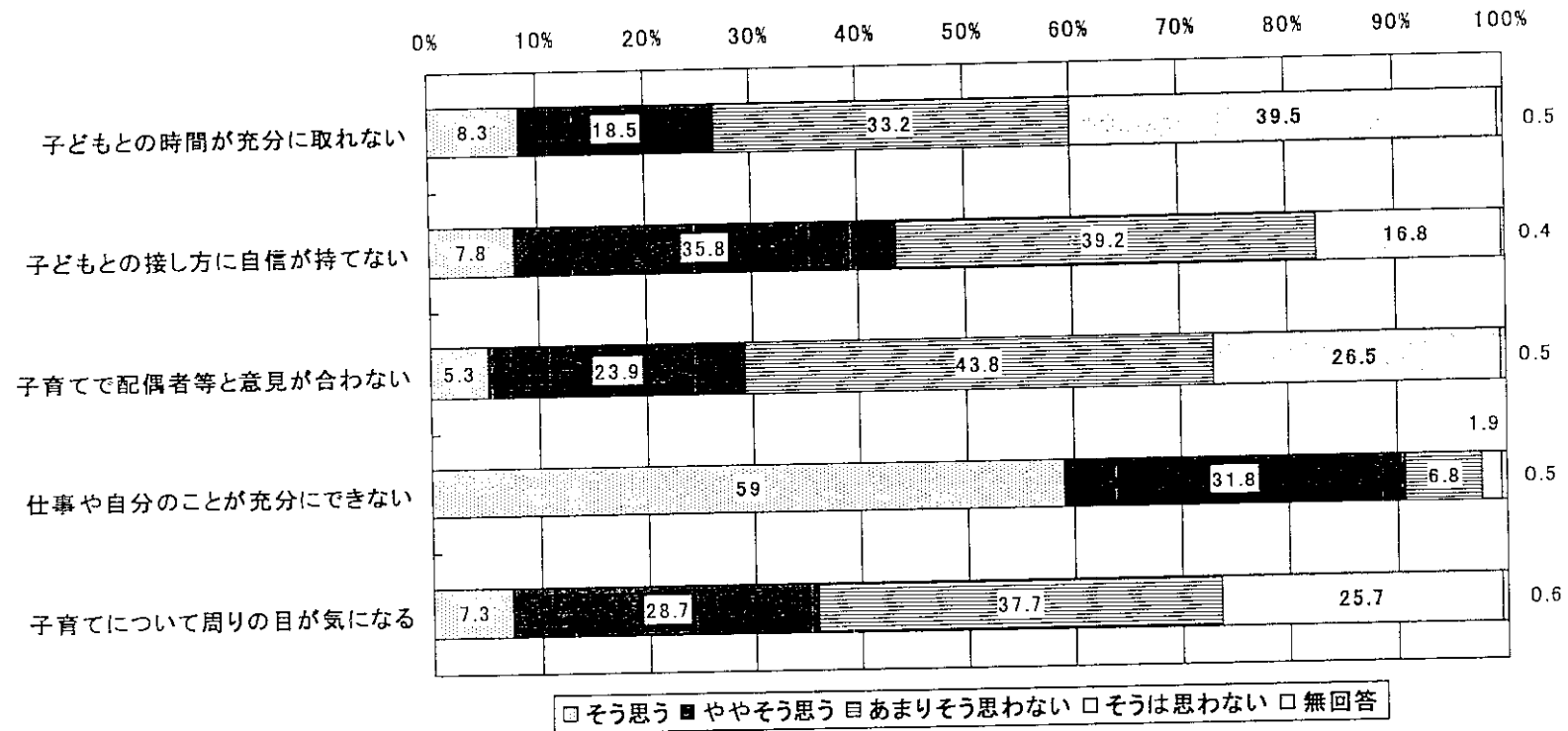
既婚女性（55歳以上）の労働力人口

祖母世代となる既婚女性（55歳以上）の労働力人口が増加している。



子育ての不安や悩み

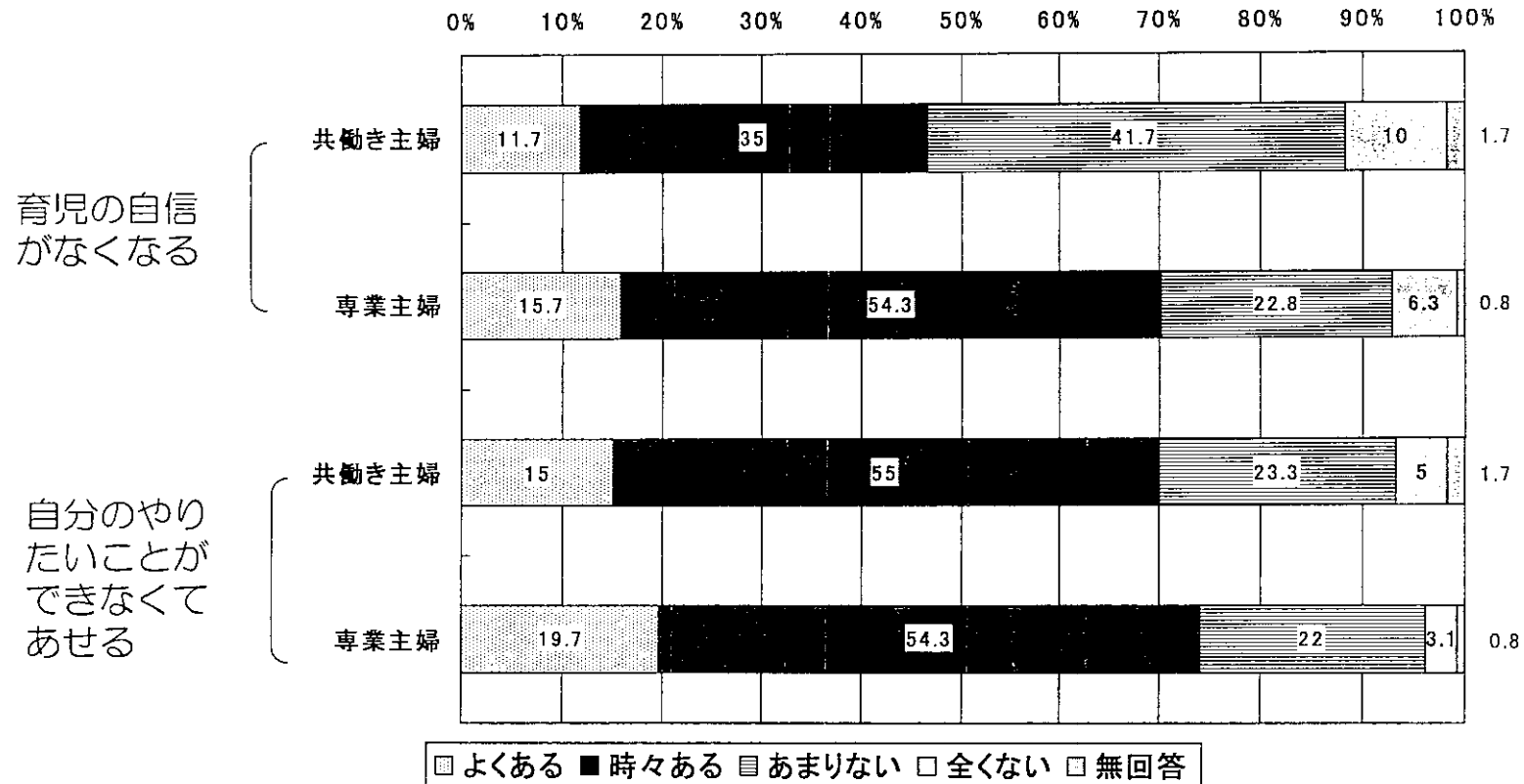
「仕事や自分のことが十分にできない」が圧倒的に多く、「子どもとの接し方に自信が持てない」、「子育てについて周りの目が気になる」も多い。



(出典) 平成15年3月UFJ総合研究所「子育て支援策等に関する調査研究報告書」
 (厚生労働省雇用均等・児童家庭局委託調査) (母親を対象とした調査)

育児中の不安について

共働き主婦よりも専業主婦の方が育児中の不安が大きい。

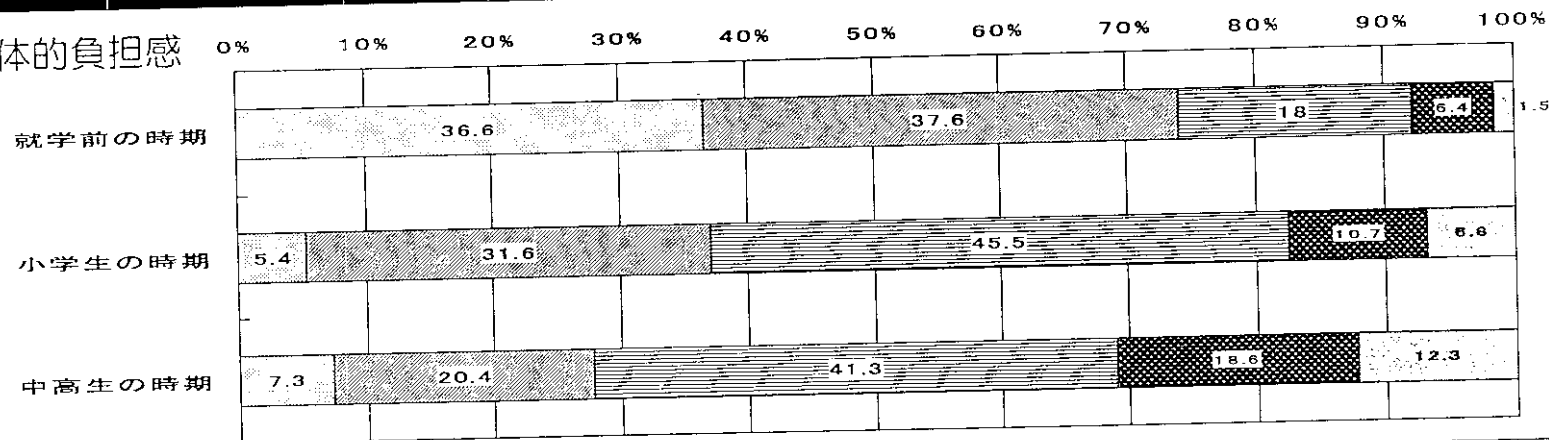


(出典) 内閣府「国民生活選好度調査」(1997)

子育てにおける負担感

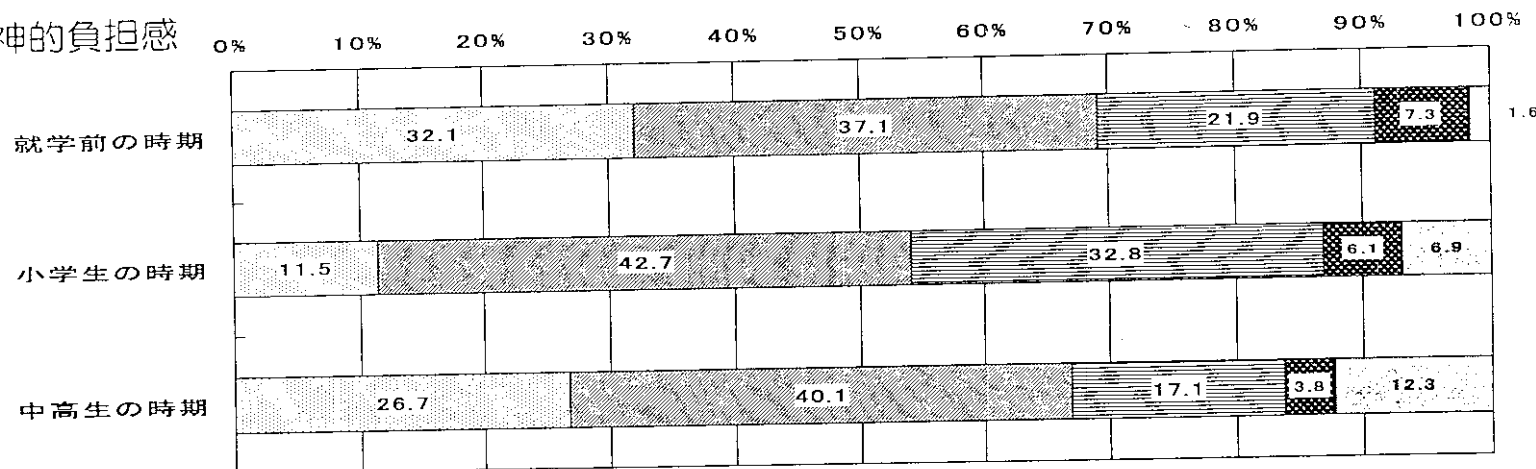
就学前の時期における子育ての負担感は大きい（子どものいる世帯）。

○身体的負担感



□ 大変負担である □ やや負担である □ 余り負担に感じない ■ ほとんど負担に感じない □ 無回答

○精神的負担感



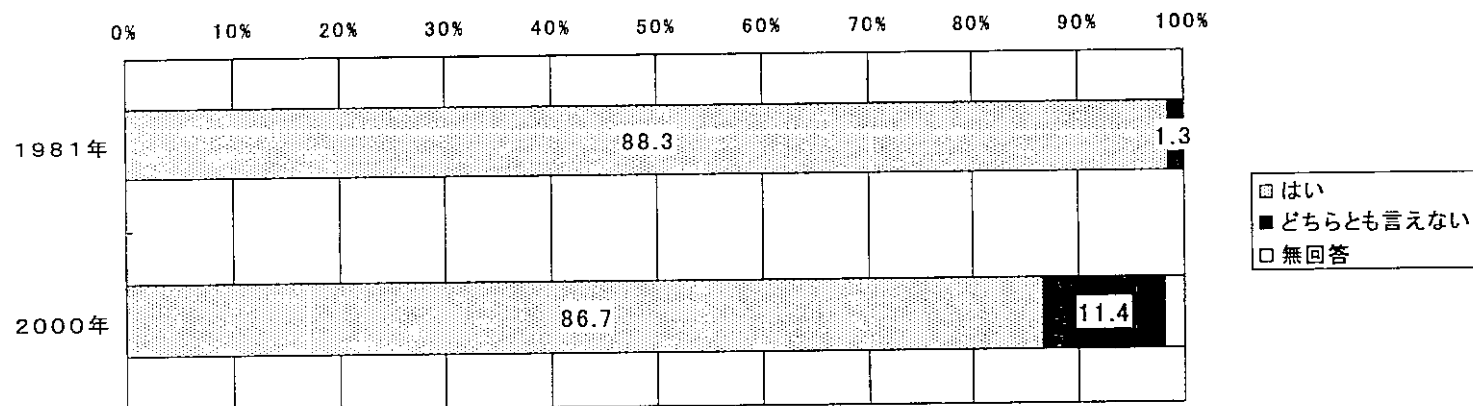
□ 大変負担である □ やや負担である □ 余り負担に感じない ■ ほとんど負担に感じない □ 無回答

(出典) 厚生労働省 平成13年度児童環境づくり等総合調査研究事業

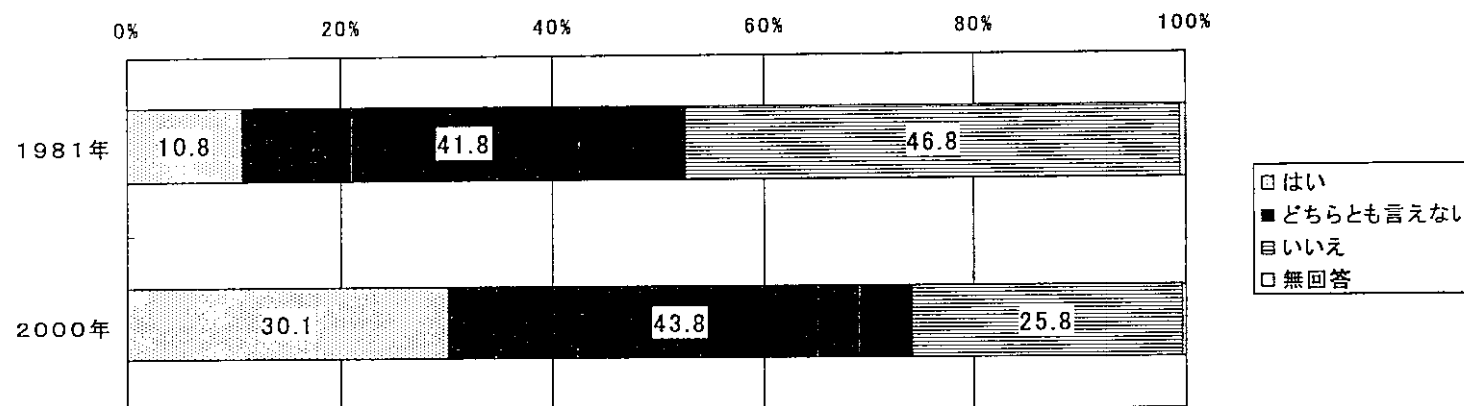
母親の意識の比較

「子どもといると楽しい」の割合が減り、「イライラすることが多い」の割合が増えている。

○子どもといると楽しいか



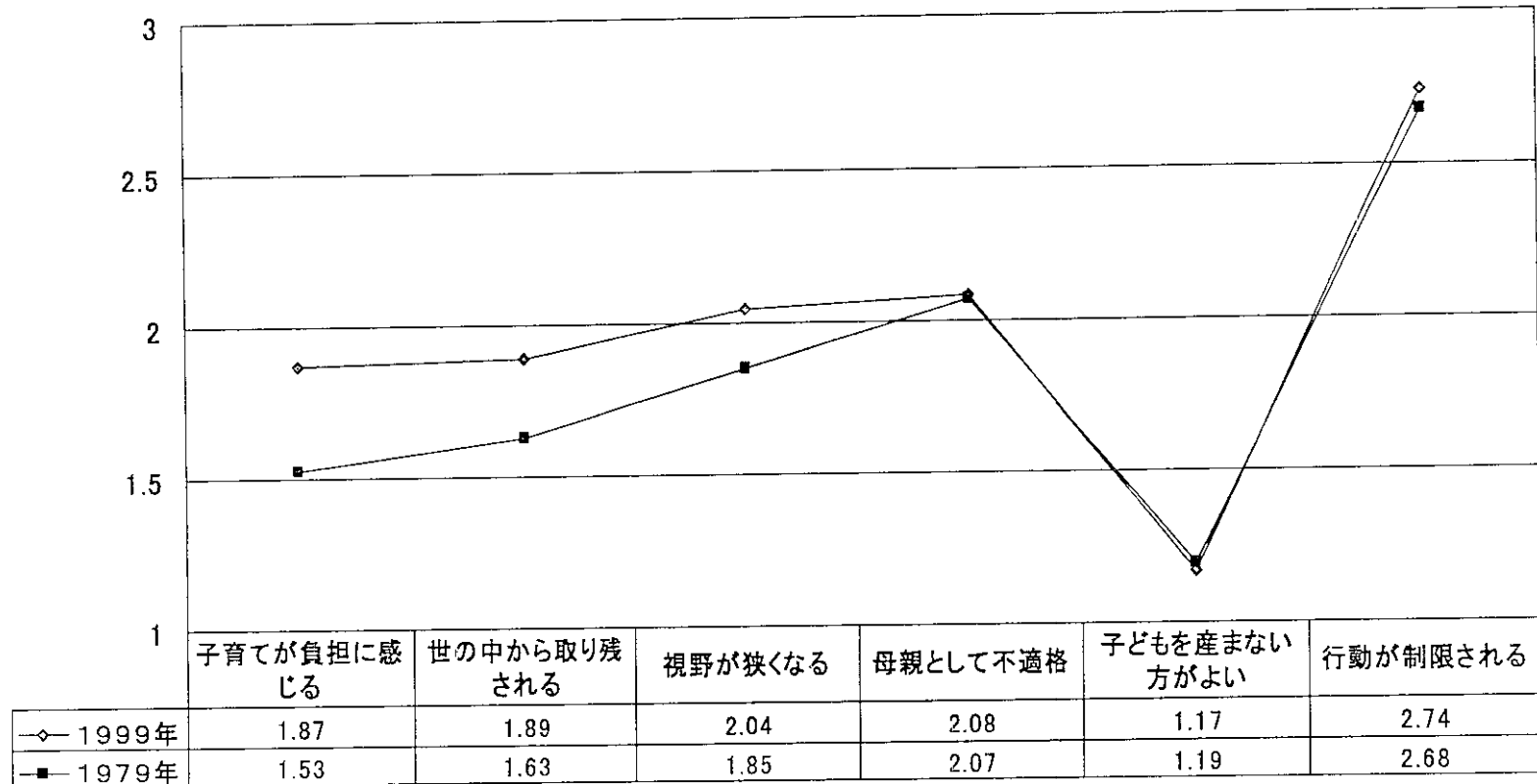
○イライラすることが多いか



(出典) 児童環境づくり等総合調査研究事業 (平成13年3月)

子育てに関する意識の比較

「子育てが負担に感じる」、「世の中から取り残される」、「視野が狭くなる」が増えている。



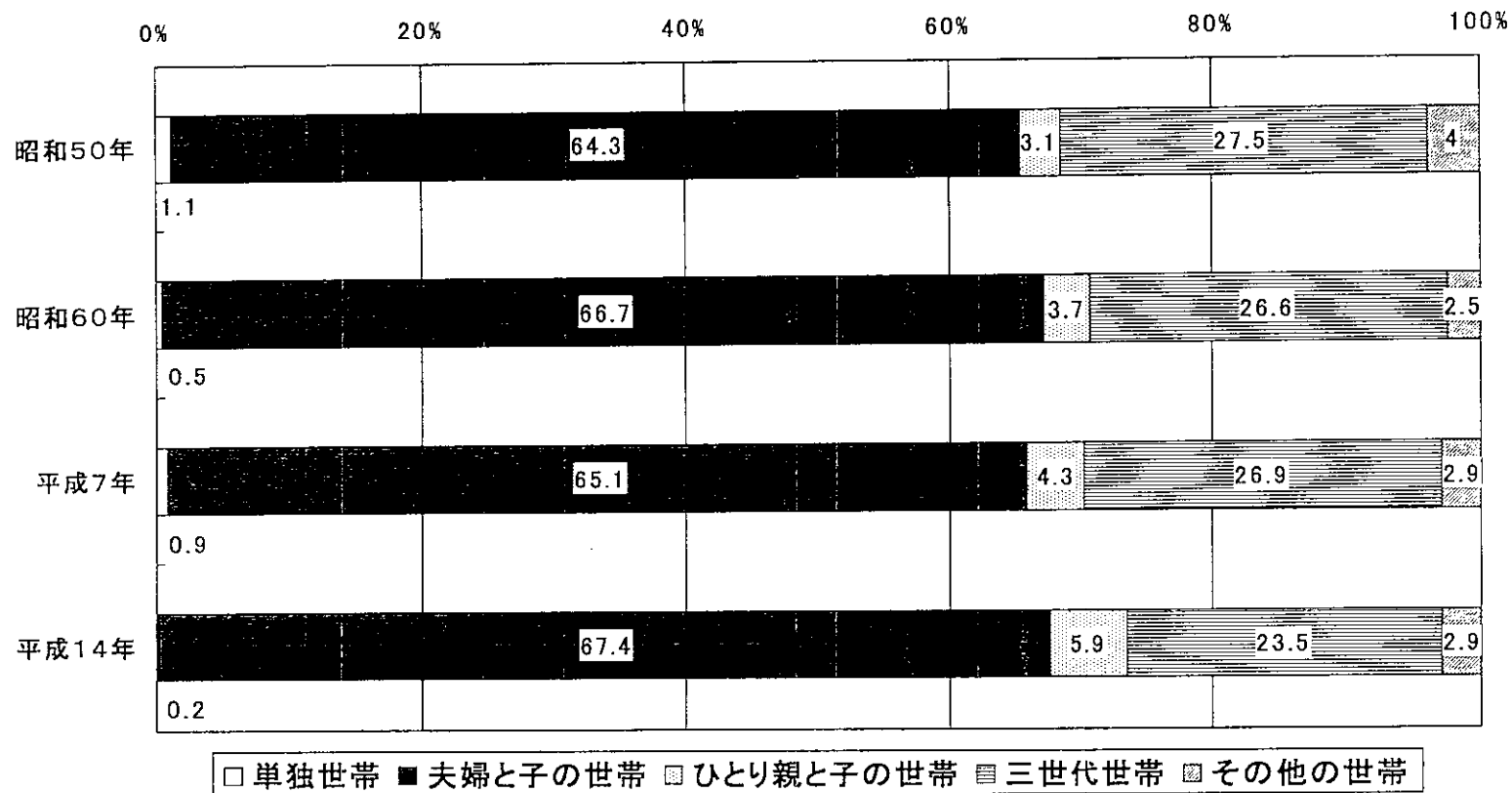
(出典) 「首都圏一般人口における児童虐待の疫学調査報告書 (平成12年3月子どもの虐待防止センター)」

※東京都に居住する満6歳以下の子を持つ母親に対する調査。

※「そのとおりである」に4点、「どちらかというとはまる」に3点、「どちらかというとはまらない」に2点、「違う」に1点を与え集計したもの。

世帯構造別児童のいる世帯

夫婦と子の世帯の割合が増えている。



(出典) 国民生活基礎調査

育児休業取得率

男性の育児休業取得率は、かなり低い。

| | <目標値> | <H14> | <H11> |
|----|-------|-------------------------|------------------|
| 男性 | 10% | <u>0.33%</u> (0.05%) | 0.42% (0.55%) |
| 女性 | 80% | <u>64.0%</u> (71.2%) | 56.4% (57.9%) |

※出典：女性雇用管理基本調査（厚生労働省）

※目標値：「少子化対策プラスワン」、「次世代育成支援に関する当面の取組方針」において社会全体の目標として掲げられているもの。

※いずれも5人以上規模事業所の数値（カッコ内は30人以上）

夫と妻の育児時間・家事関連時間

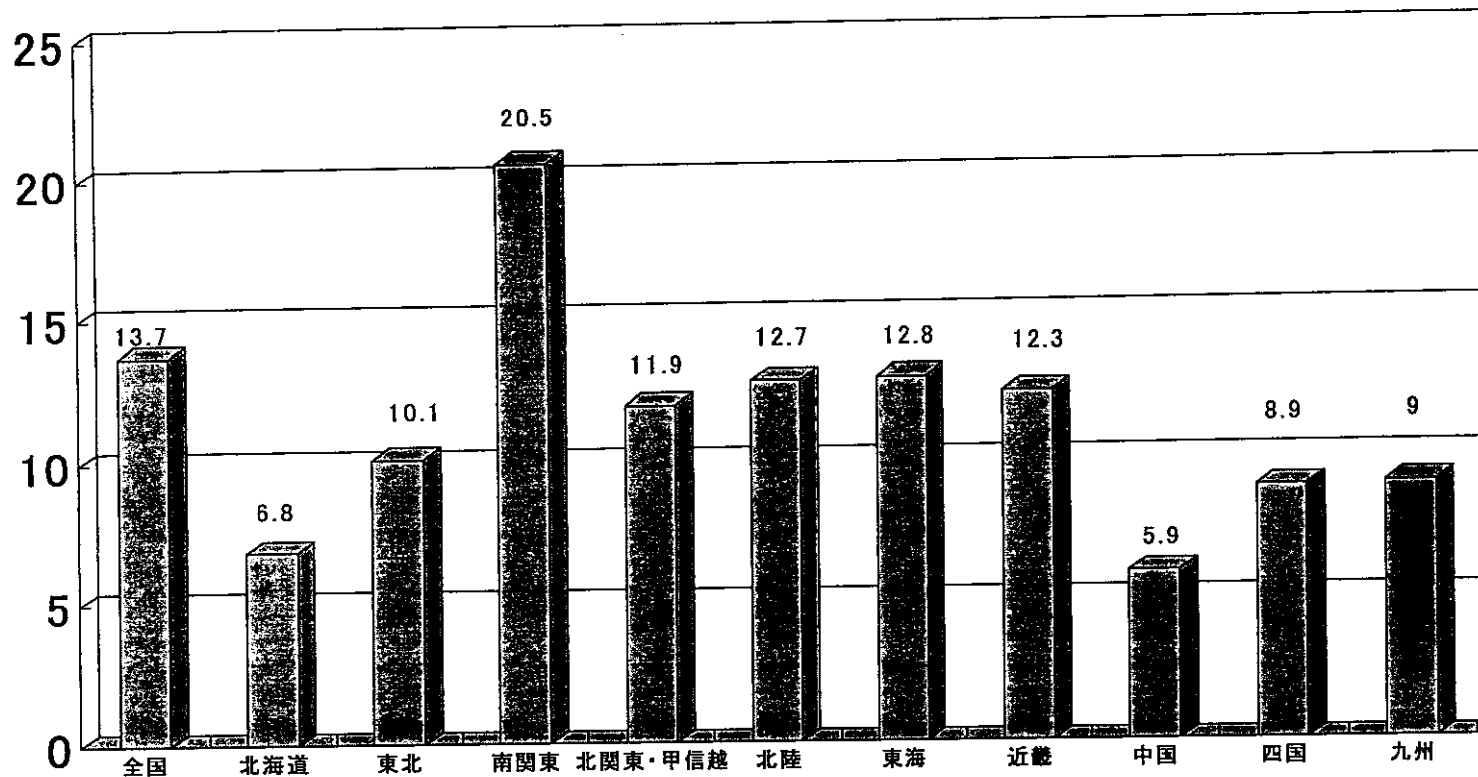
男性の家事（育児）参加は、1日1時間にも及ばない。

| 家族類型 末子の年齢 | 夫 | | 妻 | |
|----------------------|------|----------|--------|----------|
| | 育児時間 | 他の家事関連時間 | 育児時間 | 他の家事関連時間 |
| 夫婦と子の世帯 0歳 | 24分 | 15分 | 5時間4分 | 3時間47分 |
| 1～2歳 | 17分 | 14分 | 3時間14分 | 3時間55分 |
| 3～5歳 | 8分 | 14分 | 1時間23分 | 4時間33分 |
| 夫婦と子と両親の 世帯 0歳 | 23分 | 8分 | 5時間16分 | 3時間29分 |
| 1～2歳 | 17分 | 11分 | 3時間20分 | 4時間43分 |
| 3～5歳 | 7分 | 10分 | 1時間17分 | 3時間51分 |

(出典) 総務省「社会生活基本調査」(平成13年)

平日の帰宅時間が23時以降翌朝3時未滿の父親の割合 (未就学児のいる父親)

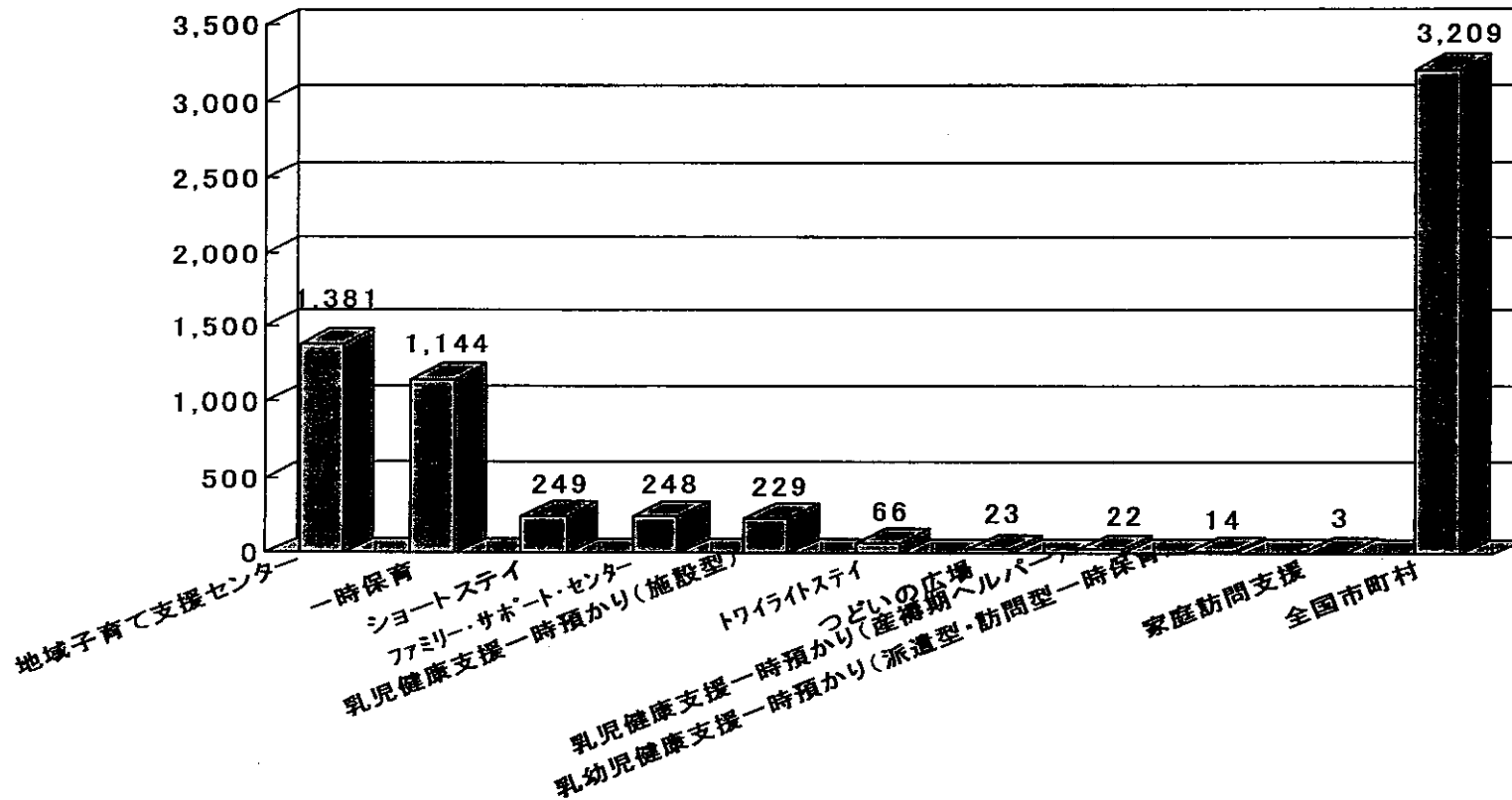
14%の父親の帰宅時間が深夜に及んでおり、特に、南関東では2割以上



(出典) UFJ総合研究所「子育て支援策等に関する調査研究」(厚生労働省委託(2003年))

子育て支援事業の現状（実施市町村数）

自治体による子育て支援事業の取組は、まだまだ不十分



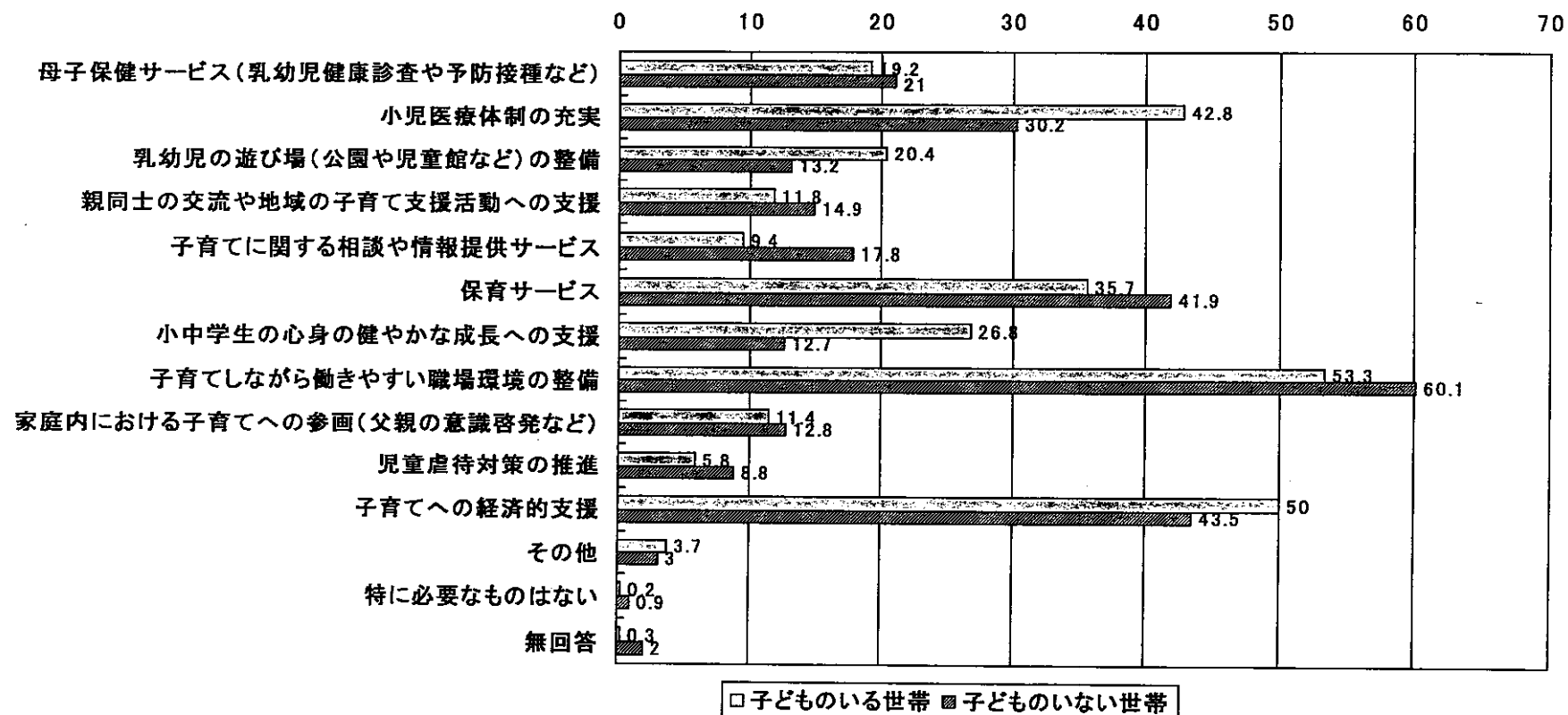
※ 全国市町村数は平成15年5月1日時点

※ 実施市町村数は平成14年実績。ただし、ショートステイ・トワイライトステイは平成13年度実績

4. 求められている子育て支援

今後充実が必要な施策・サービス及び支援策

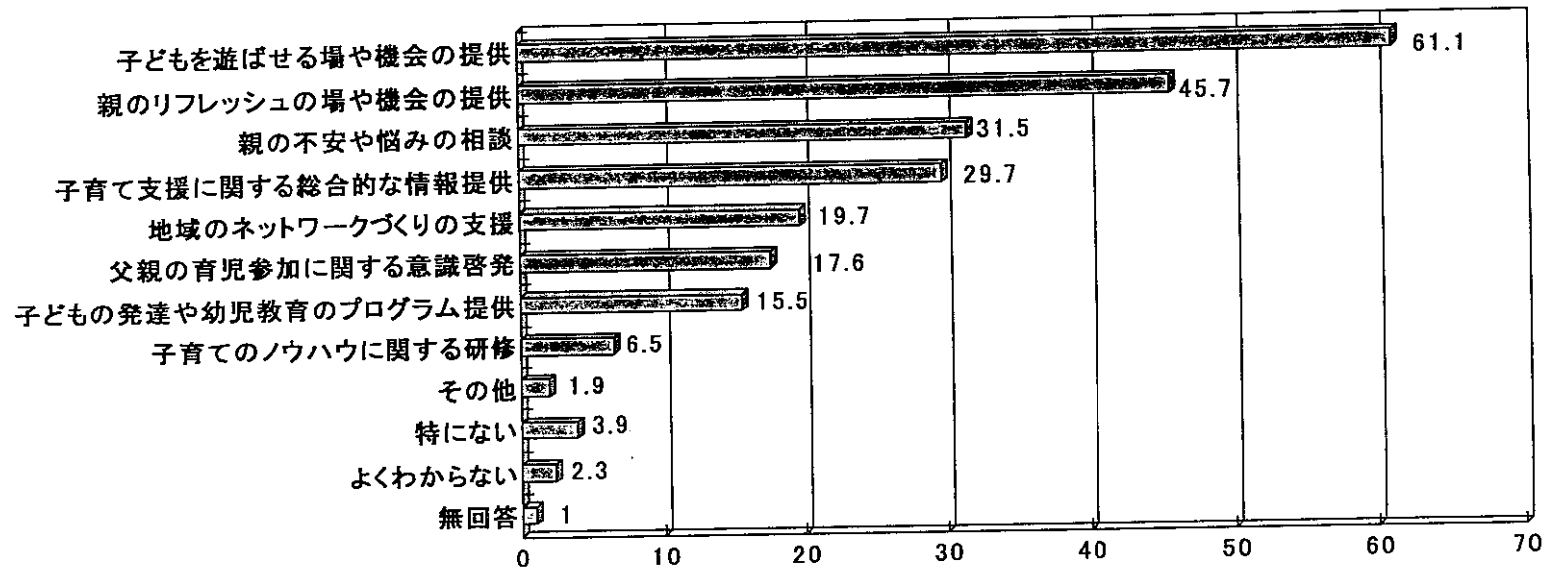
○ 子どものいる世帯、いない世帯ともに、「子育てしながら働きやすい職場環境の整備」が最も求められている。



(出典) 平成13年度児童環境づくり等総合調査研究事業「子育て家庭に対する支援策に関する調査研究報告書」(平成14年3月)

保育サービス以外へのサービスの期待

○ 「子どもを遊ばせる場や機会の提供」を望む人が最も多い。「親のリフレッシュの場や機会の提供」、「親の不安や悩みの相談」、「子育て支援に関する総合的な情報提供」を求める人も多い。



(注) 平成15年3月UFJ総合研究所

「子育て支援策等に関する調査研究報告書」(厚生労働省雇用均等・児童家庭局委託調査)(母親を対象とした調査)